ESET PROTECT ソリューション

V7.0/V7.1 から V7.2 以降へのバージョンアップ手順書

~インターネット接続不可の環境の場合~

第5版

2021年7月1日 キヤノンマーケティングジャパン株式会社

目次

1. はじめに
2. 本資料における構成の前提4
3. 新バージョンへのバージョンアップフロー5
4.【STEP0】事前準備7
5. 【STEP1】ESET Security Management Center サーバーのバックアップ 9
6. 【STEP2】サーバーのバージョンアップ14
7. 【STEP3】バージョンアップ確認のための動的グループの作成29
8. 【STEP4】EM エージェント及びクライアント用プログラムのバージョンアップ
■バージョンアップ方法パターン分け■34
9. パターンA:インストーラーをローカル実行してバージョンアップする場合35
10.パターン B:Web サーバーを使用してバージョンアップする場合42
11.パターン C:AD 環境で GPO を使用してバージョンアップする場合 54
12.【STEP5】 バージョンアップ完了の確認67
※上記手順 9~11(P35~P66)に関しては、お客様環境に合わせてバージョンアップ方法が異なります。
パターン分けの詳細については P34 をご確認ください。

1. はじめに

- ○本資料は、ESET PROTECT ソリューションをご利用のお客さまが旧バージョンからバージョン 7.2 へバ ージョンアップする際に必要となる作業や注意事項について記載しています。
- ○本資料は、本資料作成時のソフトウェア及びハードウェアの情報に基づき作成されています。ソフトウェ アのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに記載されている機能及び名称が異なっている 場合があります。また、本資料の内容は将来予告なく変更することがあります。

○本製品の一部またはすべてを無断で複写、複製、改変することはその形態に問わず、禁じます。

 ○ESET、NOD32、ThreatSense、LiveGrid、ESET Endpoint Protection、ESET Endpoint Security、ESET Endpoint アンチウイルス、ESET File Security、ESET NOD32 アンチウイル ス、ESET Security Management Center、ESET PROTECT は、ESET,spol. s. r. o.の商 標です。Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V、Active Directory、Internet Explorer、Microsoft Edge、Outlook、SmartScreen、Windows Live は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。Mac、Mac logo、Mac OS、OS X は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc.の商標です。 Android Robot のイラストは、Google が作成、提供しているコンテンツをベースに変更したもので、ク リエイティブ・コモンズの表示 3.0 ライセンスに記載の条件に従って使用しています。仕様は予告なく変 更する場合があります。

2. 本資料における構成の前提

本資料は、以下の構成を前提として、V7.0/V7.1 プログラムから V7.2 以降ヘバージョンアップする際の フローや注意点を記載しております。以下の構成に当てはまらないバージョンや構成におきましても、本資 料を参考にバージョンアップを実施いただけるように必要な情報を記載しております。

		バージョンアップ前	バージョンアップ後	
全体構成		・Windows クライアント、300 台程度管理	・Windows クライアント、300 台程度管理	
		・モバイル管理なし	・モバイル管理なし	
		・1 台の専用サーバー機で管理機能とミラー機能を運用	・1 台の専用サーバー機で管理機能とミラー機能を運用	
		・プロキシサーバーなし	・プロキシサーバーなし	
		・オールインワンインストーラーを利用してインストール	・既存サーバーを利用	
		・管理サーバーと各クライアント端末はインターネット接続不可	・管理サーバーと各クライアント端末はインターネット接続不可	
サーバー用	管理	・ESET Security Management Center V7.1 以前	·ESET Security Management Center V7.2 以降	
(Windows Server	25	・ユーザーズサイトから取得したファイルを IIS または	・ユーザーズサイトから取得したファイルを IIS または	
2016)	2)-	EFSW V7.2 以前のミラー機能で公開	EFSW V7.3 以降のミラー機能で公開	
	ウイルス・スパイ	•ESET File Security for Microsoft	•ESET File Security for Microsoft	
	ウェア対策	Windows Server V7.2 以下	Windows Server V7.3 以降	
クライマント田	管理	・ESET Management エージェント V7.1 以前	・ESET Management エージェント V7.2 以降	
ッフィアン下州 (Windows10)	ウイルス・スパイ	・ESET Endpoint Security V7.1 以前 または	・ESET Endpoint Security V7.3 以降	
(willdows10)	ウェア対策	ESET Endpoint アンチウイルス V7.1 以前	・ESET Endpoint アンチウイルス V7.3 以降	



3. 新バージョンへのバージョンアップフロー

V7.0 または V7.1 から V7.2 以降ヘバージョンアップにあたり必要なステップは、以下の通りです。

【STEP0】事前準備

【STEP1】ESET Security Management Center サーバーのバックアップ

STEP1-1. SQL Server Management Studio 18 のインストール

STEP1-2. ESET Security Management Center のサービス停止

STEP1-3. データベースのバックアップ

STEP1-4. コンフィグレーションファイルのバックアップ

【STEP2】サーバーのバージョンアップ

STEP2-1. 動作要件の確認

STEP2-2. ESET File Security for Microsoft Windows Server のバージョンアップ

STEP2-3. ESET Security Management Center のバージョンアップ

STEP2-4. データベースのバックアップ

STEP2-5. ピア証明書と認証局のバックアップ

【STEP3】バージョンアップ確認のための動的グループの作成

【STEP4】エージェント及びクライアント用プログラムのバージョンアップ

※環境に合わせてバージョンアップ方法がパターン A~C に分かれます

パターン A:インストーラーをローカル実行してバージョンアップする場合

a. EM エージェントのバージョンアップ

- a-1. EM エージェントバージョンアップ用の GPO または SCCM スクリプトの準備
- a-2. EM エージェントバージョンアップ用のバッチファイルの準備
- a-3. EM エージェントのバージョンアップ
- b. クライアント用プログラムのバージョンアップ
 - b-1. 動作要件の確認
 - b-2. クライアント用プログラムのバージョンアップ用バッチファイルの準備
 - b-3. クライアント用プログラムのバージョンアップ

パターン B:Web サーバーを使用してバージョンアップする場合

- a. EM エージェントのバージョンアップ
 - a-1. クライアントの EM エージェントをバージョンアップ
- b. クライアント用プログラムのバージョンアップ
 - b-1. 動作要件の確認
 - b-2. クライアント用プログラムのバージョンアップ

パターン C:AD 環境で GPO を使用してバージョンアップする場合

a. EM エージェントとクライアント用プログラムのバージョンアップ

a-1. 動作要件の確認

a-2-1. バージョンアップの準備 ~GPO の作成~

a-2-2. バージョンアップの準備 ~GPO の配布~

a-3. EM エージェントとクライアント用プログラムのバージョンアップ

a-4. 配布した GPO の割り当て解除

以降は共通の確認作業

【STEP5】バージョンアップ完了の確認

4.【STEP0】事前準備

インターネット接続可能端末からユーザーズサイトにアクセスし、バージョンアップに使用するインストーラーを ダウンロードします。本手順でダウンロードするインストーラーは、各クライアント端末に配布して実行します。

以下 URL からユーザーズサイトにログインします。
 [ユーザーズサイト]
 <u>https://canon-its.jp/product/eset/users/index.html</u>
 ※ユーザーズサイトにログインするにはシリアル番号とユーザー名が必要です。

ユーザーズサイト	
 ユーザーズサイトについて ユーザーズサイトは、ESETセキュリティ、ソフトウェア。シリーズの法人向けサーバー・クライアント用製品をご購入いたびにSS名さま専用のWebサイトです。同サイトでは、以下の各単新像を入手いただけます。 - 最新のプログラムやマニュアル・ライセンス通知書 - ライセンススキーファイル - 最新のプログラムやマニュアル・ライセンス通知書 - マイセンスモーファイル - ちイセンス通知 - モンス・マンス・マンス・マンス・マンス・マンス・マンス・マンス・マンス・マンス・シーク・ス・ロック・ロートンでいただけます。 - エーザーズサイトの「プログラム」トンでいただけます。 - ログーズサイトの「クロクノンについてン - ログインする際に、シリアル番号・ユーザーえを30分以内に連続して6回回と買って入力されたきます。 - ログインする際に、シリアル番号・ユーザーえを30分以内に連続して6回回と買って入力されたきます。 - ログイン爆縮を一時的にロックさせていただまます。 - ログロン爆縮を一時的にロックさせていただまます。 	ログイン シリアル番号 ※ EEPA-/EEPS-/ES*-/N***-のいずれかで始ま る半角気数字 コーザー名 ※ EAV-で始まる半角気数字 ESETコーザースサイト利用的就 回覧する ログイン ※ シリアル番号やコーザー名がわからない、 ログインに失敗する場合はごちら
 シリアル番号・ユーザー名をお忘れになったなど、ログインに関してのお問い合わせはごちら 	

2. ユーザーズサイトで[プログラム/マニュアル]-[プログラムの一覧からダウンロード]と進み、以下のインス トーラーをそれぞれダウンロードします。

・オンプレミス型セキュリティ管理ツール(旧称:クライアント管理用プログラム) ESET Security Management Center(Windows)(Ver.7.2.XX.X)の オールインワンインストーラー



・ESET Management エージェント Windows 向け ESET Management エージェント(Ver.7.2.XXX.X)

dows / Mac / Linux環境のクライアント端末を管理するには、クライアント端末にESET 用の環境に対応したESET Management エージェントを以下よりダウンロードしてくだ	「Management エージェントをインストール さい。	する必要があります。		
、クライアント管理を行わない場合、または、管理対象となるクライアント端末がAndra (一ジョン 7 より、名称を「ERAエージェント」から「ESET Management エージェン	oid環境の場合は、本プログラムのダウンロー ト」へ変更しました。	ド・インストールは不要です。		
···· ··· ··· ··· ··· ··· ··· ··· ··· ·				
ゴロガニレタ	プログラム			
	64bit	32bit		
Windows向け ESET Management エージェント(Ver.7.2.1267.0) 【2020.10.26】Windows 10 October 2020 Update(20H2)対応開始	ダウンロード	ダウンロード		
Mac向け ESET Management エージェント(Ver.7.2.3262.0)	タウ	×-0<		
【2020.8.3】新バージョン提供開始始				

・Windows 向けクライアント用プログラム ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルス(Ver.7.3.XXX.X)

Windows向けクライアント用プログラム							
Windows環境でご利用になる場合は、以下のクライアント用プI	ログラムをダウンロー	ドしてください	~1 _°				
プログラム名	リリースノート	変更内容	プロ: 64bit	グラム 32bit	ユーザーズマニュアル	設定に関する 注意事項	
ESET Endpoint Security(Ver.7.3.2044.1) 【2020.12.07】新プログラム提供開始	ダウンロード	<u>256</u>	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード		
ESET Endpoint アンチウイルス(Ver.7.3.2044.1) 【2020.12.07】新プログラム提供開始	ダウンロード	<u>256</u>	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード	

・Windows Server 向けクライアント用プログラム ESET File Security for Microsoft Windows Server(Ver. 7.3.XXXX.X)

Windows Server向けクライアント用プログラム							
Windows Server環境でご利用になる場合は、以下のクライアント	用プログラムをダウンロ	コードしてくだ	さい。				
プログラム名	リリースノート	変更内容	プログラム -	ユーザーズ マニュアル	マニュアル 正誤表	設定に関する 注意事項	
ESET File Security for Microsoft Windows Server (Ver. 7.3.12002.1) 【2021.03.15】新バージョン提供開始	ダウンロード	<u>256</u>	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード	ダウンロード	

5. 【STEP1】ESET Security Management Center サーバーのバックアップ

ESET Security Management Center のバージョンアップをする前にデータをフルバックアップしてください。

STEP1-1. SQL Server Management Studio 18 のインストール

1. 以下 URL より、SQL Server Management Studio 18 をダウンロードし、サーバーヘインストー ルしてください。

<SQL Server Management Studio ダウンロードサイト> https://docs.microsoft.com/ja-jp/sql/ssms ※インストール後、再起動が要求された場合は再起動します。

「Microsoft SQL Server Management Studio18」を起動できることを確認します。
 ※初めて起動する場合、起動に少々お時間がかかります。

STEP1-2.ESET Security Management Center のサービス停止

サーバーのデータベースのバックアップを取得するために、以下の手順を参照して ESMC のサービスを停止 させます。

く注意> ESMC のサービスを一時的に停止するためクライアントを管理することができません。 サービスが停止している間のクライアントのログは、クライアント自身で保持してお り、サービス起動後に通信が確立された段階で ESMC にログが送付されます。

 「Windows キー」+「R」でファイル名を指定して実行させるウィンドウを開き「services.msc」と入 力し、[OK]ボタンをクリックします。

💷 ファイ	ル名を指定して実行	×
	実行するプログラム名、または開くフォルダーやドキュメント名、インター ネット リソース名を入力してください。 -	
名前(<u>O</u>):	services.msc	-
		_
	→ OK キャンセル 参照(<u>B</u>)	

2. 「ESET Security Management Center Server」サービスを選択し、サービスの停止をクリック します。

🔍 サービス						-		×
ファイル(F) 操作(A) 表	長示(V) ヘルプ(H)							
	🗟 🛛 🖬 🔹 🕨 🖬 🔹							
🄍 サービス (ローカル)	🔍 サービス (ローカル)							
E S + 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	SET Security Management Center Server サービスの(等止 サービスの(等止 サービスの(等止 SET Security Management Center	名前 ② Diagnostic Service Host ③ Distributed Link Tracking Client ③ Distributed Link Tracking Client ③ Distributed Transaction Coordinator ④ DNS Client ④ Downloaded Maps Manager	説明 Diag フiag ネット データ DNS ダウン	状態 実行中 実行中 実行中	スタートアップの種類 手動 自動 自動(遅延開始) 自動(トリガー開始) 無効 (リガー開始)	ログオン Local S Local S Local S Networ Networ		~
S	erve service.	Gencrypting rile system (LFS) Gencrypting rile system	唱 ラ… エンタ… ESET … ESET …	実行中 実行中 実行中	手動 手動 手動 自動 白動	Local S Local S Local S Networ Local S	1	
		Yet Est Security Management Lenter Server の EST Service の Est Service の Function Discovery Provider Host の Function Discovery Resource Publication の Geolocation Service の Group Policy Client の Human Interface Device Service の HV ホストサービス いたいない	ESET ESET 拡張 FDR この寸 Grap 管理 キーボ 広規	実行中 実行中 実行中	自動(1434(1454)) 自動 手動 手動 手動 にリガー開始) 無効 自動(トリガー開始) 手動(トリガー開始) 手動(トリガー開始) 手動(トリガー開始) 手動(トリガー開始)	Local S Local S Local S Local S Local S Local S Local S Local S Local S Local S	•	~
1	拡張 〈標準 /							

3. 「ESET Security Management Center Server」サービスの状態が空欄になったことを確認します。

🔍 サービス						_	×
ファイル(F) 操作(A)	表示(V) ヘルプ(H)						
	à 📑 🚺 📷 🕨 🔲 II IV						
🤍 サービス (ローカル)	④ サービス (ローカル)						
	ESET Security Management Center Server サービスの開始 説明: ESET Security Management Center Server service.	名前 の Diagnostic Service Host Diagnostic System Host Distributed Link Tracking Client Distributed Transaction Coordinator DNS Client DNS Client	説明 Diag ネット データ DNS ダウン 暗号 エンク ESET ESET ESET ESET たのサ Grap 管理	状 実実実 実実実 実 行行行 行行行 行行行 行 中 中 中 中 中 中 中 中	スタートアップの種類 手動 自動(運延開始) 自動(ドリガー開始) 無効 手動 手動 自動(運延開始) 自動(リリガー開始) 手動 自動(運延開始) 自動 自動 手動 自動 手動 手動	ログオン Local S., Local S., Networ., Networ., Local S., Local S., Local S., Local S., Networ., Local S., Local S.,	^
		Q Human Interface Device Service Q HV ホスト サービス D Hyner-V Data Exchange Service	キーボ ホスト 仮相		手動(トリガー開始) 手動(トリガー開始) 手動(トリガー開始)	Local S Local S	~
	,	Sectored v para excitation pervice	98.45m			cocal Sin	

STEP1-3. データベースのバックアップ

1. サーバーへの接続画面で、以下の通り項目を確認して[接続]ボタンをクリックします。

サーバーの種類	データベースエンジン
サーバー名	ESMC のサーバーで使用しているインスタンス名
	※既定は「コンピューター名¥ERASQL」
認証	Windows 認証

	SQL Server	
サーバーの種類(T):	データベース エンジン	~
サーバー名(S):	¥ERASQL	~
[2]]][(A):	Windows IZEE	~
ユーザー名(U): パスワード(P):	 パスワードを(呆存する(M)	×

オブジェクトエクスプローラーより、[インスタンス名]-[データベース]-[era_db]へ移動します。
 「era_db」を右クリックし、[タスク]-[バックアップ]をクリックします。



3. データベースのバックアップ画面で、以下の通り設定し、[OK]ボタンをクリックします。

データベース	era_db
バックアップの種類	完全
バックアップ先	ディスク

■ データベースのパックアップ - era	_db		_		×
ページの選択 <i>と</i> 全般	「スクリプト 👻 😯 ヘノレプ				
▶ 3ディア オプション ▶ Kックアップ オプション	ソース データベース(T): 復日モデル(M): バックアップの種類(K): ロコピーのみのパックアップ(Y) バックアップ コンポーネント: ④ データベース(B) ○ File およびファイル グループ(G): バックアップ先 バックアップ先(U):	era_db 単純 完全			
接続 サーバー: ¥ERASOL 接続: ✓	[O¥Program Files¥Microsoft SQL Serve	r¥MSSOL 12 ERASOLINSTANOEID¥MSSOL¥Backup¥era_do bak		這加(D) 削除(R 内容(C	
			ОК	キャン	セル

4. 以下のメッセージが表示されたらバックアップは正常に終了しています。 [OK]ボタンをクリックして、閉じます。

Microsoft SQL Server Management Studio	×
データベース 'era_db' のバックアップが正常に完了しました。	
■ メッセージのコピー	ОК

- ※「アクセスが拒否されました」といったエラーが出力された場合は、バックアップファイルの出力先に アクセス権限があるかご確認ください。
- 5. 手順4で作成したバックアップファイルが指定の場所に格納されていることを確認します。

STEP1-4.コンフィグレーションファイルのバックアップ

- 1. 以下のフォルダの「Startupconfiguration.ini」ファイルをコピーし、任意の場所に保存してください。
 - <Window Server 2008/ Window Server 2012/ Window Server 2016/ Window Server 2019 のディレクトリ>

C: ¥ProgramData¥ESET¥RemoteAdministrator¥Server¥EraServerApplicationDat a¥Configuration

※[ProgramData]が表示されない場合は、[表示]-[隠しファイル]にチェックを入れてください。

※Mobile device Connector をインストールしている場合は、以下のフォルダの

「Startupconfiguration.ini」ファイルもコピーし、任意の場所に保存してください。

<Window Server 2008/ Window Server 2012/ Window Server 2016/ Window Server 2019 のディレクトリ>

 $C: \verb"{ProgramData"} ESET \verb"{RemoteAdministrator"} MDMCore \verb"{Configuration"} Configuration" and the set of t$

 バックアップ完了後、【STEP1-1】を参考に「ESET Security Management Center Server」サービスを起動してください。

く注意>

ESMC V7.X のサポート OS は Windows Server 2012 以降です。 サポート OS に関しては、以下 URL をご確認ください。 https://eset-info.canon-its.jp/files/user/pdf/support/esetbe_os_era.pdf

く参考>

ESET Security Management Centerのバージョンアップに失敗した場合、データベースとコンフィ グレーションファイルのバックアップを使用して、バージョンアップ前の状態に復元することができます。 <オンプレミス型セキュリティ管理ツールのフルバックアップをする手順、および、リストアする手順につい て>

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/119?site_domain=business

また、バージョンアップ時にデータの引き継ぎに失敗した場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

<お問い合わせ窓口(サポートセンター)のご案内> https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/883?site_domain=business

6.【STEP2】サーバーのバージョンアップ

サーバーにインストールされている ESMC と EFSW をバージョンアップします。

STEP2-1. 動作要件の確認

バージョンアップの前に、ESMC V7.2とEFSW V7.3の動作要件を確認します。

<ESET Security Management Center 動作要件> https://eset-info.canon-its.jp/business/esmc/#spec

<ESET File Security for Microsoft Windows Server 動作要件>

・ESET PROTECT Entry オンプレミス(旧名称: ESET Endpoint Protection Advanced)を ご利用のお客様

https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-entry-o/spec.html

・ESET PROTECT Essential オンプレミス(旧名称: ESET Endpoint Protection Standard)を ご利用のお客様

https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-essential-o/spec.html

く参考>

ESMC V7.1 以降では、64bit 版の Java が必要です。

なお、Oracle 社提供の Java Runtime Environment 8 は公式アップデートを終了しております。 <Java Runtime Environment 8 のサポート終了に伴う今後の対応について> https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/13127?site_domain=business

そのため、有償の JRE もしくは以下の URL を参照し、無償のオープンソース JDK の移行を実施して ください。

<【移行手順】Windows Server 環境に構築済みのオンプレミス型セキュリティ管理ツールで、オープンソース JDK を利用するには?>

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/13052?site_domain=business



ESMC V7.1 以降では、Apache Tomcat 9(64bit)が必要です。

32bit 版を利用している場合は、32bit 版をアンインストール後、64bit 版をインストールしてからオンプレミス型セキュリティ管理ツールのバージョンアップを実施してください。

64bit 版のインストールにつきましては、以下 URL 内の「事前準備-3. Java と Apache Tomcat のバージョンアップ、または、64bit 版のダウンロード(項番4除く)」を参照し てください。

<Windows Server 環境でコンポーネントプログラムのインストーラーを利用して、オンプレミス型セキュリティ管理ツールをバージョンアップする手順>

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/4773?site_domain=business

※既に 64bit 版を利用している場合は、Apache Tomcat の事前バージョンアップは 必要ありません。

く参考>

Microsoft SQL Server 2008 R2 以前のデータベースをご利用の場合は、先に Microsoft SQL Server 2014 以降へアップグレードしたうえで、サーバーのバージョンアップを実施してください。

STEP2-2. ESET File Security for Microsoft Windows Server のバージョンアップ

以下の手順で ESET File Security for Microsoft Windows Server V7.3 以降へ上書きバージョンアップします。

1. 【STEP0】 事前準備でダウンロードした ESET File Security for Microsoft Windows Server のインストーラーをサーバー上の任意の場所に移動し、ダブルクリックして実行します。



2. 「ESET File Security セットアップウィザードへようこそ」画面が表示されます。[次へ]ボタンをクリックします。



「エンドユーザー契約条項」画面が表示されます。
 「ライセンス契約条項」と「プライバシーポリシー」をご確認のうえ、「ライセンス契約条項を受諾します」

のラジオボタンにチェックを入れ、[次へ]ボタンをクリックします。

歸 ESET File Security 設定	×
エンドユーザー契約条項 以下のライセンス契約条項を注意してお読みください	eser
重要:ダウンロード、インストール、コピー、または使用の前に、製品利 する下記契約条件を注意してお読みください。本製品をダウンロード、 トール、コピー、または使用することにより、お客様はこれらの条件 する同意を表明し、次の項目に同意したことになりますプライバシー シー、 エンドユーザー使用許諾契約	用に関 ^ インス 和こ対 -ポリ
本エンドユーザーライセンス契約(以下「本契約」とします)は、Einst 24, 851 01 Bratislava, Slovak Republicに所在し、ブラチスラバ第1地方	teinova ī裁判 V
 ● ライセンス契約条項を受諾します(A) ○ ライセンス契約条項を受諾できません(D) 	
プライバシーポリシー < 戻る(8) 次へ(M) > キ	キンセル(C)

4. 「セットアップの種類」画面が表示されます。

[完全]のラジオボタンにチェックを入れ、[次へ]ボタンをクリックします。

ᡒ ESET File Security 設定	1	×
セットアップの種類 ニーズに合ったセットアッ	プの種类を選択してください	eser
◉ 完全	すべてのプログラム機能がインスト ールされます	
⊂קר	コア機能とコマンドラインユ ーザーインターフェイスがイ れます。サーバーコアインスト ールでは推奨されます。	ンストールさ ,
🔿 ከ294	インスト ールするプログラム 機能を 選択してください。 ーザー向けです。	上級者ユ
	→見る(3) 次へ(N) >	キャンセル(C)

5. 「インストールするフォルダを選択してください。」画面が表示されます。

[インストール]ボタンをクリックします。

😸 ESET File Security 設定	×
インストールするフォルダを選択してください。	(ES et)
このフォルダにインストールするには[インストール]をクリックしてください。別のフォル るには、フォルダを入力するか参照をクリックしてください。	レダにインストールす
製品フォルダ(P):	
C:¥Program Files¥ESET¥ESET Security¥	参照 <mark>(</mark> R)
モジュールフォルダ(Ϻ):	
C:¥Program Files¥ESET¥ESET Security¥Modules¥	参照 (R)
データフォルダ(D):	
C:¥ProgramData¥ESET¥ESET Security¥	参照(R)
< 戻る(B) (マインストール(I)	キャンセル(C)

上書きインストールが開始します。インストールが完了するまでそのままお待ちください。
 ※ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい]ボタンをクリックします。

ューザー アカウント制御 このアプリがデバイスに変更な か?	× を加えることを許可します
	リハード ドライブ
はい	いいえ

 ・上書きインストールが完了すると、「ESET File Security セットアップウィザードを完了しています」
 画面が表示されます。

[完了]ボタンをクリックし、画面を閉じてください。



※「再起動」を促すアラートが表示されますが、次の【STEP2-3】を実行後に再起動いたします。

STEP2-3. ESET Security Management Center のバージョンアップ

- 1. 【STEP0】事前準備でユーザーズサイトよりダウンロードした「ESET Security Management Center(Ver 7.2.XX.X)」のオールインワンインストーラー「Setup_x64.zip」をサーバー上の任意 の場所に配置します。
- 2. サーバーに配置した「Setup_x64.zip」を展開し、「Setup.exe」をダブルクリックで実行します。



3. 言語で「日本語」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

ESET Security Management Center	-tʊyトアッブ —
(eset)	ESET Security Management Centerセットアップ
SECORITY MANAGEMENT CENTER ・ ようこそ アクションのタイプ 利田規約	 クイックセットアップガイド インストール成功のための手順と情報 インストールおよびアップグレードガイド
コンボーネント インストール前チェック インストール 終了	 すべてのインストールオプションの概要を説明する製品マニュアル。 手順ビデオ ESET Security Management Centerビデオガイドを含むESET Youtubeチャンネ ルを表示します。
	言語 日本語 事前に用意されたコンテンツやリポジトリに使用される言語を選択します。Webコンソールの 言語選択には影響しません。
	戻る 次へ キャンセル

4. 「すべてのコンポーネントをアップグレード」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

ESET Security Management Cer	iterセットアップ	-		×
	アクションタイプを選択			
MANAGEMENT CENTER	ESET Security Management Centerとそのコンポーネントに対し 違択します。	て実行するアク	ションを	
 アクションのタイプ 利用規約 	O インストール		0	_
コンボーネント インストール前チェック インストール	すべてのコンボーネントをアップグレード		0	
	0 P>1>2h		0	
	L	- 1		_
	戻る 次へ	+	ャンセル	

5. エンドユーザーライセンス契約に同意したら、「ラインセンス契約の条件に同意します」を選択し、[次 へ]ボタンをクリックします。

ESET Security Management Cent	erゼットアップ – 🗆 🗙
	エンドユーザーライセンス契約
CENTER ようこそ アウションのタイプ ・利用規約 コンポーネント インストール前チェック インストール 終了	▲ 重要:ダウンロード、インストール、コピー、または使用の前に、製品利用に関する 下記契約条件を注意してお読みください、本製品をダウンロート、インストー ル、コピー、または使用することにより、お客様はこれらの条件に対する同意を 表明したことになります。 ソフトウェア使用に関するエンドユーザーライセンス契約条項。 本ソフトウェア使用に関するエンドユーザーライセンス契約(以下「本契約」としま す)は、スロパキア共和国,Einsteinova 24,851 01 Bratislavaに所在し、ブラ チズラパ第1地方裁判所の有限会社部門(District Court Bratislava I. Section Sro)において掲載載号う586/8, BRN: 31 333 535として商業登記 されている、ESET, spol.sr.o.、またはESETグループ内の別企業(以下「お客 概測たば「エンドユーザー」とします)との間で締結され、お客様に本契約の第1 条で定義する本ソフトウェアを使用する権利を付与するものです。本契約の第1 ● ライセンス契約の条件に同意しません
	ブライバシーポリシー 戻る 次へ キャンセル

アップグレードするコンポーネントを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。
 ※ESMC V7.1 以前で利用しているコンポーネントがアップグレードされます。

ESET Security Management Cer	terセットアップ	_		×
eser	アップグレードするコンボーネント			
SECURITY MANAGEMENT CENTER ようこそ アクションのタイプ 利用規約	 ESET Security Management Center Server ESET Management Agent Mobile Device Connector - インストールされていません Wicrosoft SQL Server Express 		0]
▶ コンボーネント インストール前チェック インストール	ESET Security Management Center Webconsole		0	
終了	Rogue Detection Sensor - インストールされていません WinPCAP - インストールされていません		0	
	Apache HTTP Proxy - インストールされていません		0	
	戻る 次へ	+	ャンセル	

 ご利用の Java を選択します。Amazon Corretto を利用している場合は、「OpenJDK」を選択し、 [アップグレード]ボタンをクリックします。



8. アップグレードが実行されます。

ESET Security Management Cer	nterセットアップ アップグレード中	×
SECURITY MANAGEMENT CENTER ようこそ アクションのタイプ 利用規約 コンポーネント インストール前チェック ・インストール 終了	コンポーネント Microsoft SQL Server Express ESET Security Management Center Server ESET Management Agent Apache Tomcat ESET Security Management Center Webconsole	推定時間 へ 20分 5分 2分 5分 5分 5分 5分 5分
	戻る次へ	キャンセル

- 9. アップグレードが完了したら、以下の画面が表示されます。
 - [終了]ボタンをクリックします。



10. 再起動します。

- 11. ESMC Web コンソール を起動して、ESET Security Management Center に接続します。 ユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン]ボタンをクリックします。
 - ※ ESMC Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。 https:// <管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス> /era/

(Julie)

12. 以下の画面が表示されたら、「×」で閉じます。



13.「コンピューター」より、管理兼ミラーサーバーの再起動アラートが消えていることを確認します。 ※他の原因でアラートが表示されている場合は、適宜ご対応ください。

(CS CT	SECURITY MANAGEMEN	IT CEN	ITER					G ⊽							R 🖃
	コンピューター	:	A (サブグループの表示		LOST+F	DUND (2)	タヴ	_	フィルタの追加]			プリセット
G	グループ	Q		△ コンビュ	ーター名	タグ	ステー	52-	モジュー	前回の接続		アラー	検出	セキュリティ製品	
	へ 🗋 すべて (2)	-					 Image: A second s		更新	2020 12月 2	4 15:23:51	0	0	ESET Endpoint Securit	у
	LOST+FOUND (2)	٢					 Image: A second s		更新	2020 12月 2	4 16:15:17	0	0	ESET File Security	
	✓ Windows コンピューター ✓ In Linuxコンピューター														

14. 右上[ヘルプ]-[バージョン情報]をクリックします。

(15CT)	SECURITY MANAGEMENT	CENTER	G 2	・ コンピューター名	クイックリンク	৺◎∿レフ♥ ৪	DMINISTR/	ATOR 🖂	> 16時間	13
		コンピューター :	A 0 V 0	サブグループの表示 💟	ि इन्दर (2)	ツ コン !ユーター - ヘルフ				
됴	コンピューター	グループ の	フィルタの追加			ナレ ジベース スタートアップウィザー	F	プリセッ	<u></u>	0
A		^ □ ₹<\(7.2)		-9-8 97	ステーミ	サポートフォーラム ESET ポートニュース		アラー	検出	0
		✓ □ LOST+FOUND (2) ✓ Mindows コンピューター			*	WeLi eSecurity ESET 2イルスレーダー	24:	0	0	
		∨ 🞦 Linux⊐>ピューター		0	~	サポートに連絡	24:	0	0	
		✓ Mac コンピューター				パージョン情報				
		古いオペレーティングシ								
		 問題のあるコンピュータ アクティベーションされ、 								

15. 「ESET Security Management Center (Server)」と「ESET Security Management Center (Web コンソール)」のバージョンが、「7.2」であることを確認します。

(ESET) SECURITY MANAGEMENT CENTER							
	コンピュー	−ター 〉 🖵 🕏 desktop					
⊊ì ▲	ESET Security Management Center (Server)、パージョン7.2 (7.2.1279.0) ESET Security Management Center (Webコンソール)、パージョン7.2 (7.2.239.0) Copyright (c) 1992-2020 ESET, spol. s r.o. All Rights Reserved.						
1 I I I		エンドユーザー ライセンス契約 Microsoft Windows Server 2016 Datacente 接続クライアント: 2 アクティブなライセンス: 1 ライセンス管理	rr (64-bit)、ノζージョン10.0.14393.1884	_			
چ م		インストールされたコンポーネント: 名前	バージョン	0			
~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~		アップデートモジュール 翻訳サポート機能	1021 (20200218) 1803 (20200603)				
		SysInspectorモジュール SSLモジュール	1274 (20180918) 1043 (20200310)				
		プッシュ通知サービス モジュール 設定モジュール	1061 (20200402) 1822.4 (20200505)				

以上で、サーバーのバージョンアップは完了です。

### STEP2-4. データベースのバックアップ

【STEP1】 ESET Security Management Center サーバーのバックアップと同様の方法で、再度バ ージョンアップ後の ESET Security Management Center のデータベースとコンフィグレーションのバック アップを取得してください。

※バックアップ取得時には、ESET Security Management Center サービスを停止する必要が ありますのでご注意ください。

#### STEP2-5. ピア証明書と認証局のバックアップ

ESET Security Management CenterとEM エージェントの接続に使用しているピア証明書と認証 局をエクスポートして、バックアップを取得します。

1. [詳細]-[ピア証明書]より、エクスポートを行う証明書を選択し、[アクション]より[エクスポート]をクリックします。



2. エクスポートした証明書を任意の保存先に保存します。

◎ 名前を付けて保存						$\times$
$\leftarrow \rightarrow \checkmark \uparrow \checkmark$	PC > ダウンロード >	~	Ü	. ダウンロ−ドの	食索	
整理▼ 新しいフォルタ	<i>†</i>				•	?
S PC	<b>^</b> 名前	更新日時		種類	サイズ	
🧊 3D オブジェクト						-
🖊 ダウンロード						
🔜 デスクトップ						
🖆 ドキュメント						
📰 ピクチャ						
🛃 ビデオ						
🎝 ミュージック						
🐛 Windows (C:)						
🕩 ネットワーク	~					
ファイル名(N): 証	明書エクスポートCN=Server+at+pfx					~
ファイルの種類(T): Per	rsonal Information Exchange (*.pfx)					$\sim$
ヘ フォルダーの非表示				保存(S)	キャンセル	

- 3. 手順 1~2 を繰り返し、各証明書のエクスポートを行います。
- 4. [詳細]-[認証局]より、エクスポートを行う認証局を選択し、[アクション]より[公開鍵のエクスポート] をクリックします。

(CSPT)	SECURITY MANAC	EMENT CENTER							ックリンク マ
	☆出 送信されたファイル	認証局	÷	アクセスグ	ループ 選択	<b>節</b> タグ	$\bigtriangledown$	フィルタの	自加
	除外隔離	タグ	م		説明	ステータス	件名	タグ	有効開始日
	コンビューター コンビューター リンビュータユーザー 動的グループテンプレート ライセンス管理 アクセス権 ユーザー 権限設定 運明書 ひての 認証局 サーバーの定 サーバー設定 アクティビティ監査 とごのパ	<b>ご</b> こでは、適用されたタグのリスト・ 認し、すばやくフィルタリングです。 す。	確 * * * * * * * * * * * * *	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	FRA総証機関 	· ▶ 新規作成	CN=サーバー		2021 3月 1 00:000

5. エクスポートした公開鍵(認証局)を任意の保存先に保存します。

名前を付けて保存					×
$\leftarrow \rightarrow \land \uparrow$	> P(	C > ダウンロード >	ٽ ~	𝒫 ダウンロ−ドの	検索
整理▼ 新しいフォ	1ルダー				·== • ?
。 PC (1) 3D オブジェクト	^	名前 ~ かなり前 (4)	更新日時	種類	サイズ
<ul> <li>              ダクンロード             デスクトップ             デスクトップ             デキュメント             ビデオ             ビデオ</li></ul>	Ŷ	<ul> <li>■ 認証局 CN=サーバー認証局 public key.der</li> <li>era-diagnostic-logs_2020-06-12_16-58-06</li> <li>essupd200403-1239</li> <li>imgburn2580_jp2</li> </ul>	2019/10/30 11:09 2020/06/12 16:59 2020/04/03 17:55 2020/04/03 17:54	セキュリティ証明書 ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー	1 КВ
ファイル名(N): ファイルの種類(T):	認証) Secu	局+CN=サーバー認証局+public+key.der rity Certificate (*.der)			~ ~
ヘ フォルダーの非表示				保存(S)	キャンセル



以上で、サーバーのバージョンアップは完了です。

# 7.【STEP3】バージョンアップ確認のための動的グループの作成

バージョンアップが完了したクライアント端末が振り分けられる動的グループを作成します。親グループに割り当てられているポリシーは引き継がれるため、アップデート先の設定などを新たに行う必要はありません。

- ESMC Web コンソール を起動して、ESET Security Management Center に接続します。 ユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。
  - ※ ESMC Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。 https:// <管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス> /era/

es	SECURITY MANAGEMENT CENTE	R
	ログイン	
2310	Administrator	
	۲- ۲۵ م ۲- ۲۵ م	
-	● E 本語	
	ドン インユーザーとしてログイン	
	✓ マルチタブでのセッションを有効化	
	The second secon	

「コンピューター」より、バージョンアップを行うクライアント端末が所属する静的グループを選択し、[歯車]-[新しい動的グループ...]をクリックします。
 ※本手順では、例としてなっていたが形成する「LOCT」 FOUND は認知します。

※本手順では、例としてクライアントが所属する「LOST+FOUND」を選択します。



[基本]を展開し、任意の名前(例:バージョンアップ完了グループ)を入力します。
 ※[説明]の入力は任意です。

新しい動的グループ コンピューター > 新しい動的グループ	
基本 ▲ テンプレート サマリー	名前 バージョンアップ完了グループ X
	説明 親グループ LOST+FOUND
	親グループの変更

4. [テンプレート]を展開し、[新規作成]ボタンをクリックします。

新しい動的グループ コンピューター > 新しい動的グループ	
基本	▲ 動的グループテンプレート
▲ テンプレート	既存を選択
サマリー	新規作成

5. [基本]を展開し、任意の名前(例:エージェント V7.2 自動振り分けテンプレート)を入力します。 ※[説明]の入力は任意です。

新規テンプレート	
基本	名前
式 式	エージェントV7.2自動振り分けテンプ
	説明
	<b>タ</b> グ タグを選択

[式]を展開し、処理に「AND(すべての条件が真であること)」を選択します。
 [ルールの追加]をクリックします。

基本 式 ルールの追加	ナベての条件が真であること) ∨

7. [インストールされたソフトウェア]-[アプリケーションバージョン]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

項目を選択してください	
7-11/2	
✓ ■ OSエディション	
✓ ■ OS□ケール	
> ■ アクティブな検出	
∨ ■ アクティベーション	
▲ ■ インストールされたソフトウェア	
■ アプリケーションバージョン	
■ アプリケーションペンダー	
■ アプリケーション名	
■ エージェントによるアンインストールサポート	
サイズ(MB)	
■ デバイス管理者権限	
∨ ■ コンピューター	
> ■ コンピューターの機能/保護ステータス	
∨ ■ ストレージデバイス	
◇ ■ ストレージデバイス容量	
∨ ■ タイムソーン	
◇ ■ デバイスID	
∨ ■ ネットワークDNSサーバー	
> ■ ネットワークIPアドレス	
✓ ■ ネットワークWINSサーバー	
∨ ■ ネットワークアダプタ	
	0x ++>0v

8. 「前方一致」を選択し、条件に「7.2」と入力します。

「ルールの追加」をクリックします。

新規テンプレート		
基本	<ul> <li>         タ理 AND (すべての条件が真であること)         <ul> <li>インストール</li></ul></li></ul>	â

9. [インストールされたソフトウェア]-[アプリケーション名]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

項目を選択してください			×
▶ 入力すると検索を開始			× *
∨ ■ 05エディション			-
✓ ■ OSロケール			
∨ ■ アクティベーション			
^ ■ インストールされたソフトウェア			
■ アブリケーションバージョン			
■ アブリケーションベンダー			
■ アブリケーション名			
■ エージェントによるアンインストールサポート			
■ サイズ(MB)			
■ デバイス管理者権限			
∨ ■ コンピューター			
◇ ■ コンピューターの機能/保護ステータス			
∨ ■ ストレージデバイス			
✓ ■ ストレージデバイス容量			
∨ ■ タイムゾーン			
		ОК	キャンセル

「=(等しい)」を選択し、条件に「ESET Management Agent」を入力します。
 手順 8 で設定した条件と、本手順 10 で設定した 2 つが指定されていることを確認し、[終了]ボタンをクリックします。

新規テンプレート		
基本	<b>処理</b> AND (すべての条件が真であること)    ✓	
远	インストール されたソフト ウェア・アプリ ケーション/ ケージョン	۵
	インストール されたソフト AND ウェア・アブ リケーション 名	ŵ
	ルールの追加	
	戻る 焼行 <b>終了</b> キャンセル	

11. [サマリー]の内容を確認し、[終了]ボタンをクリックします。

新しい動的グループ <u>コンピューター</u> > エージェントバージョ	ンアップ荒子グループ
基本 テンブレート サマリー	<b>基本</b> 名前 エージェントバージョンアップ売了グループ 説明
	親グループ LOST-FOUND テンプレート 動的グループテンプレート エージェントV72目戦闘り90けテンブレート
-	戻る 城行 <b>終</b> 了 キャンセル

12. バージョンアップするクライアント端末が所属する静的グループ下に、作成した動的グループがあること を確認します。



以上で、バージョンアップ確認のための動的グループの作成の作成は完了です。

# 8.【STEP4】エージェント及びクライアント用プログラムのバージョンアップ

# ■バージョンアップ方法パターン分け■



# パターン A:インストーラーをローカル実行してバージョンアップする場合(P35~P41)

# パターン B:Web サーバーを使用してバージョンアップする場合(P42~P53)

パターン C:AD 環境で GPO を使用してバージョンアップする場合(P54~P66)

# 9. パターンA: インストーラーをローカル実行してバージョンアップする場合

### a. EM エージェントのバージョンアップ

各クライアント端末にインストールされている EM エージェント V7.1 以前を V7.2 にバージョンアップします。

### a-1.EM エージェントバージョンアップ用の GPO または SCCM スクリプトの準備

- 1. ESMC Web コンソール を起動して、ESET Security Management Center に接続します。 ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。
  - ※ ESMC Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。
     https:// <管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス> /era/

e	SET SECURITY MANAGEMENT CENTER	
	ログイン	
in in	Administrator	1999
	א-פגזו ב	
01.0 9100	● E 本語	
	□ ド>インユーザーとしてログイン	
	<ul> <li>マリチタブでのセッションを有効化</li> <li>ログイン</li> <li>パスワード変更</li> </ul>	

2. 「インストーラー」より、[インストーラーの作成]-[GPO または SCCM スクリプト]を選択します。

(ese	J SECURITY MANAGEM	ENT CENTER					
==	ダッシュボード						
G	コンピューター						
A	検出						
ñí	レポート						
Þ	タスク						
≞	インストーラー						
۲	ポリシー						
~	コンピュータユーザー						
ŵ	通知		1	<b>~</b> \			
ų.	ステータス概要		E				
	详细 >		インストーラーが	作成されていま	せん		
		選択したESET部 3を少う	シンロードして、アクティベーションし、デバイス インストー 日 オールインク 日 エーラエント 日 GPOまたはS	(2055) Security Manageme -ラーの作成 マ ン インストーラー イブインストー。 イブインストー。	nt Centeriご接続する	インストーラーを作成しまう	Ţ.

3. [証明書]を展開し、[ピア証明書]で[ESMC 証明書]を選択し、[続行]ボタンをクリックします。

GPOおよびSCCMの設定ファイ インストーラー 〉 GPOまたは SCCMスクリン	ルを作成 ⁷ ▷
33 <b>明表</b> 詳述	2 組織人営プログラムに参加する         1 前知にすると、クラッシュレポート、およびのびパージョンやタイプ、ISIT認品 バージョン、および他の通過空雨の奇層といった至名のデレメトリーデータを ISITに送信しています。            2 EMC経明書         1 力スクム圧明意         2 MT といろり、         2 EMC経明書         2 MT といろり、         2 MT といろりのののでも知らい         2 MT といろり、         2 MT といろりののののから         2 0 1 2月 7 150000から         2 0 1 2月 7 15000から         3 0 1 2月 7 15000から         3 0 1 2月 7 15000から         3 0 1 2月 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	戻る 統行 終了 キャンセル

4. [詳細]を展開し、任意の名前を入力します。(例:オフライン用エージェントバージョンアップスクリプト)

※[説明]の入力は任意です。

GPOおよびSCCMの設定ファ	イルを作成
インストーラー 〉オフライン用エージェ	:ントバージョンアップスクリプト
证明書	名前
詳細	オフライン用エージェントパージョンアップスクリプト
	説明 タグ タグ タグ クグ 変選択 または 新規グループの作成 インストーラーの初期設定 1 組み込んだ初期設定は静的グループに適用されたポリシーで国族されます。

5. 「サーバーホスト名(またはサーバーの IP アドレス)」と「ポート」を確認し、[終了]ボタンをクリックしま す。

「GPO または SCCM スクリプト(ファイル名例:install_config.ini)」がダウンロードされますので、任意の場所に保存します。

※クライアント端末が所属する静的グループ情報は引き継がれるため、「親グループ」の設定は必要 ありません。

GPOおよびSCCMの影 インストーラー > オフライン	<b>定ファイルを</b> 作成 _{用エージェントパージョンアップスクリプト}
証明書	97
詳細	タグを選択
	<b>観グループ(任気)</b> 選択 または 新鋭グループの作成
	インストーラーの初期設定
	i 組み込んだ初期設定は第89グループに適用されたポリシーで置換されます。
	設定テンプレート
	<ul> <li>酸走しない</li> <li>ポリシーのリストから設定を選択</li> </ul>
	サーバーホスト名(またはサーバーのIPアドレス) 192.168.10.10 クライアントから感旋できるサーバーのホスト名を入力します。空白の場合は、サーバーのホスト名が使用されます
	ポート 2222 HTTPプロキ≫設定
	HTTPプロキシ設定を有効にする
	広る 株行 株行 キャンセル

以上で、Web コンソール上での操作は完了です。

### a-2.EM エージェントバージョンアップ用のバッチファイルの準備

 端末でメモ帳などを開き、以下のコマンドを入力して、バッチファイルとして任意の名前を付けて保存 します。(ファイル名例: EMAgentInstall.bat) ※「Agent_x64.msi」部分は、EMエージェントのインストーラー名を記入します。

@echo off cd /d %~dp0 msiexec /i Agent_x64.msi /qb!

 <a-1> で Web コンソールからダウンロードした「GPO または SCCM スクリプト」の ini ファイル (ファイル名例: install_config.ini)と手順1で作成した「バッチファイル」、【STEPO】事前準 備でダウンロードした「EM エージェント V7.2」のインストーラーを同じフォルダに格納します。

A				
名前	更新日時	種類	サイズ	
Agent_x64.msi	2021/01/18 19:24	Windows インストー	64,468 KB	
EMAgentinstall.bat	2021/03/25 11:49	Windows パッチ ファ	1 KB	- 1
install_config.ini	2021/03/25 12:28	構成設定	5 KB	
3	Agent x64.msi	<i>B</i> . Agent, x64.msi             2021/101/18 19:24	# Agent, x64.msi 2021/101/18 19:24 Windows インストー ③ ItMAgentinstall.bat 2021/02/25 11:49 Windows パンチフア 副 install_config.ini 2021/03/25 12:28 塩式設定	# Agent_x64.msi 2021/01/18 19:24 Windows インストー 64,468 KB ⑤ EMAgentintall.bat 2021/03/25 11:49 Windows パッチ ファ 11 KB ⑥ Install_config.ini 2021/03/25 12:28 構成設定 5 KB

3. 手順2で作成したフォルダをお客様環境に合わせた方法で、バージョンアップを行うクライアント端末 に配布します。(社内の共有フォルダなど)

### a-3.EM エージェントのバージョンアップ

<a-2> で各クライアント端末に配布したフォルダ内のバッチファイルを使用し、クライアント端末の EM エージェントをバージョンアップしていきます。

1. 各クライアント端末上で、<a-2>で作成したフォルダ内のバッチファイル「EMAgentInstall.bat」を 右クリックして、「管理者として実行」します。

※「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

A	エージョントバージョンフルブ			0.0	MT_Statute (C_Statute)	ゴの絵志	
	名前 ^		更新日時	10	種類	900em	
	명 Agent, vSA msi EMAgentinstal 한 install_config.in	■(0) 個素(f) 部環常としてま行(A) 管理者としてま行(A) HRE2075/302 共有(H) 以前のパージョンの後元( 違る(N) 切り取り(T) ジョントウットの作成(S) 制版(D) イロパティ(R)	2021/01/1	8 19-24	Windows {クストー_ ndows {クストー_ 形容室	64,460 KB 1 KB 5 KB	

2. EM エージェントのバージョンアップが始まります。Windows インストーラーの画面とコマンドプロンプト が消えたらバージョンアップ完了です。

C#Windows#System32#cmd.exe	—	$\times$
115 I ZV91 =		
Windows 1721-5-		
Preparing to install		

以上で、EM エージェントのバージョンアップ作業は完了です。

# b. クライアント用プログラムのバージョンアップ

### b-1. 動作要件の確認

バージョンアップの前に、EES V7.3とEEA V7.3の動作要件を確認します。

<ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルス 動作要件>

・ESET PROTECT Entry オンプレミス(旧名称: ESET Endpoint Protection Advanced)を ご利用のお客様

https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-entry-o/spec.html

・ESET PROTECT Essential オンプレミス(旧名称: ESET Endpoint Protection Standard) をご利用のお客様

https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-essential-o/spec.html

### b-2. クライアント用プログラムのバージョンアップ用バッチファイルの準備

クライアント用プログラムをサイレントでバージョンアップするためのバッチファイルを作成します。

1. 任意の端末でメモ帳などを開き、以下のコマンドを入力して、バッチファイルとして任意の名前を付け て保存します。(ファイル名例: setup.bat)

※「ees_nt64_JPN.msi」部分は、クライアント用プログラムのインストーラー名を記入します。

@echo off
msiexec /i ees_nt64_JPN.msi /qb! INSTALLED_BY_ERA=1

手順1で作成したバッチファイルと、【STEP0】事前準備でダウンロードした EES V7.3 または EEA V7.3 のインストーラーを同じフォルダに格納します。

📙   🕑 📑 =   EES/(-	・ジョンアップ			- 0	$\times$
ファイル ホーム 共利	有 表示				~ 🔞
	EESバージョンアップ	✓ Č ,○ EES/	(ージョンアップの検索		
	· *** ^	THE REAL PROPERTY IN CONTRACT OF CONTRACT.	54-54	11.27	
🖈 クイック アクセス	Setup bat	2020/12/24 11-34	Windows ∬n∓ 77	1.68	
デスクトップ	* ees nt64 JPN.msi	2020/12/24 11:15	Windows 1221	190,912 KB	
🖊 ダウンロード	A				
ドキュメント	*				
■ ビクチャ	\$				
📓 ビデオ					
♪ ミュージック					
OneDrive					
PC					
🧈 ネットワーク					
					D 000
21500項目					1122 1

3. 手順 2 で作成したフォルダをお客様環境に合わせた方法で、バージョンアップを行うクライアント端末 に配布します。(社内の共有フォルダなど)

### b-3. クライアント用プログラムのバージョンアップ

<b-2> で各クライアント端末に配布したフォルダ内のバッチファイルを使用して、クライアント用プログラムのバージョンアップを行います。

各クライアント端末の配布されたフォルダ内のバッチファイルをダブルクリックして実行します。
 ※ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい]ボタンをクリックします。



2. 上書きバージョンアップが実行されます。

ESET End	Ipoint Security
12	Windows に ESET Endpoint Security を設定しています。 しばらくお待ちください。
残り時間	<b>訂:27秒</b>

3. バージョンアップ完了後、必ず再起動を行います。

※「リアルタイムファイルシステム保護は機能していません」というアラートが表示される場合は、 再起動により解消されます。



再起動が終了したら、クライアント用プログラムのバージョンアップは完了です。

### 以上で、【パターンA:インストーラーをローカル実行してバージョンアップする場合】は完了です。 最後に【STEP5】で各プログラムのバージョンが完了したことを確認します。

# 10. パターン B: Web サーバーを使用してバージョンアップする場合

※Web サーバーを使用してバージョンアップを行う場合、各インストーラーがクライアント端末から アクセス可能な Web サーバー上で公開してあることが前提です。

# a. EM エージェントのバージョンアップ

クライアント端末の EM エージェント V7.1 以前を V7.2 にバージョンアップします。

### a-1.クライアントの EM エージェントをバージョンアップ

- 1. ESMC Web コンソール を起動して、ESET Security Management Center に接続します。 ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。
  - ※ ESMC Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。https:// <管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス> /era

es	SECURITY MANAGEMENT CENTER	
	ログイン	
	8 Administrator	13. P.
	A バスワード	
and a state	<ul> <li>● 日本語</li> </ul>	
	<ul> <li>ドメインユーザーとしてログイン</li> <li>マルチタブでのセッションを有効化</li> </ul>	
	ログイン パスワード変更	

2. [タスク]-[新規作成]-[クライアントタスク]をクリックします。



3. [基本]を展開し、以下の通り設定します。[続行]ボタンをクリックします。

名前	任意の名前(例:エージェントバージョンアップ)
説明	任意の説明
タスク分類	すべてのタスク
タスク	コマンドの実行

生       名前         エージェントバー・ジョンアッブ       90         ダクを選択       3期         ・       92/分類         すべてのタスク       ×         タスクク類       マンドの実行	クライアントタスク タスク 〉エージェントバージョンアップ	
	<u>基本</u> ▲ 設定 サマリー	Same         エーラエントバージョンアップ         タグを選択         307         クグを選択         307         ククク加加         マンク加加         マントバージョンアップ

4. 「実行するコマンドライン」に以下のコマンドを入力し、[終了]ボタンをクリックします。

powershell -NoProfile -ExecutionPolicy Unrestricted -Command "& {(New-Object System.Net.WebClient).DownloadFile('http://Web サーバーの IP アドレス/EM エージェントのインストーラーパス', '%temp%¥インストーラー名');(Startprocess '%temp%¥インストーラー名')}"

クライアントタスクの編集 タスク 》エージェントバージョンアップ	
基本 設定 サマリー	実行コマンド設定 実行するコマンドライン ⑦ powershell -NoProfile -ExecutionPolicy Unrestricted -Command "& {(New- Dbject System.Net.WebClient).DownloadFile ('http://192.1188.10.10/Agent_x64.msi');(Start- process 'XtempX¥Agent_x64.msi')}
	戻る         終行         終了         名前を付けて保存         キャンセル

5. 以下の画面が表示されたら、[トリガーの作成]ボタンをクリックします。



[基本]を展開し、任意のトリガー説明(例:エージェントのバージョンアップトリガー)を入力します。
 [続行]ボタンをクリックします。

(ESET) S	SECURITY MANAGEMENT CENTER		□ マ コンピューター名	
	新しいトリガーの追加 タスク > 新しいトリガーの追加			
álid De	基本           ▲ ターゲット	トリガー説明 エージェントの	Dバージョンアップトリガー	]
(1) (1) (2)	トリカー 詳細設定 - 調整			
ф & … >				
Ð		戻る	行 終了 キャン	tou

[ターゲット]を展開し、「コンピューターの追加」または「グループの追加」をクリックします。
 ※本手順では「グループの追加」を選択します。

(eset) SI	ECURITY MANAGEMENT CENTER			パコーター名	° _ '0	× ∃
	新しいトリガーの追加					
G	タスク 〉新しいトリガーの追加					
~	基本		コンピューターの追加	グループの追加	ターゲットの削除	
ntitul	▲ <i>ター</i> ゲット	) l				
ē	トリガー					Ø
$\Delta$	詳細設定 . 国慈					Ū
٢	PTONEXAL PPILE		使用	できるデータがありま	せん	
0						

8. EM エージェントのバージョンアップを実施するコンピューター、または、グループを選択し、「OK」をクリックします。

保存先の設定															×
グループ	~	A 0 V O	🕑 サブグループの表示	タヴ	<b>v</b>	7ィルタの追加	עד (	セット マ	]						
I T T T T P) I LOST+FOUND (	1	△2コンピューター名			タグ		<b>X</b> 5	20	ŧ	前回の推続	<b>7</b> :	機計	世	世日	_1 ()
○ ✓ I Windows コンピューター							× -		更	2020 8月 19 13:15:12	0	0	ES	7.1	LO
<ul> <li>○ ✓ ■ Mac コンピューター</li> </ul>							<b>~</b>		更	2020 8月 19 13:36:40	0	0	ES	7.1	LO
□ 古いモジュールのコンピュー	9-														
<ul> <li>         さいオペレーティングシステ         <ul> <li></li></ul></li></ul>	40														
<ul> <li>問問題のあるコンピューター</li> <li>問題のあるコンピューター</li> </ul>															
□ ~ □ モバイルデバイス	a.,														
	4													0.1	00'
															0
<	•														
ターゲット名			9	ーゲット説明						ターゲットタイプ					0
LOST+FOUND			LC	ST+FOUNDの静的グ	カレープ					静的グループ					
	L														
	L														
副除 すべて制度												_	OK	÷7	201

### 9. 「続行」をクリックします。

新しいトリカーの追加		H		
<u></u>	ヨンアップトワ	5-		
基本				
対象	$\rightarrow$	コンピューターの追加 クループの追加 ターゲットの背	間除	
トリガー		ターゲット名	ターゲット説明	ターグットタイプ (の)
詳細設定 - 調整				•
		LOST+FOUNDの静的グループ		動的グループ
		4		•
		展る		

[トリガー]を展開し、「トリガータイプ」を選択します。
 ※本手順では「即時」を選択します。[終了]ボタンをクリックします。

eser) s	SECURITY MANAGEMENT CENTER	
	新しいトリガーの追加 タスク > 新しいトリガーの追加	
<b>▲</b> ∵≣ ►	基本 ターゲット トリガー	トリガータイプ 即時 回時実行
1 © \$ \$ >	詳細設定 - 調整	有効期限 2021 4月 23 11:20:20 i ローカル時刻を使用
-		<b>戻る</b> 続行 <b>其</b> 7 キャンセル

以上で、EM エージェントのバージョンアップは完了です。

# b. クライアント用プログラムのバージョンアップ

### b-1. 動作要件の確認

バージョンアップの前に、EES V7.3とEEA V7.3の動作要件を確認します。

<ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルス 動作要件>

・ESET PROTECT Entry オンプレミス(旧名称: ESET Endpoint Protection Advanced)を ご利用のお客様

https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-entry-o/spec.html

・ESET PROTECT Essential オンプレミス(旧名称: ESET Endpoint Protection Standard) をご利用のお客様

https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-essential-o/spec.html

# b-2. クライアント用プログラムのバージョンアップ

1. 「タスク」より、「新規作成」をクリックし、「クライアントタスク」を選択します。



2. [基本]を展開し、以下の設定通りします。

名前	任意の名前(例: V7.3 バージョンアップタスク)
説明	任意で入力
タスク分類	すべてのタスク
タスク	ソフトウェアインストール

<b>クライアントタスク</b> タスク > クライアントタスク	
基本	名前
▲ 設定	v7.3パージョンアップタスク
-עק <del>ע</del>	90
	タグを選択
	<b>説明</b>
	タスク分類
	বন্দতে প্রদেশ 🗸
	タスク
	ソフトウェアインストール
	LJ
	展る 焼行 終了 キャンセル

3. [設定]を展開し、「<ESET ライセンスを選択>」をクリックします。

クライアントタスク タスク > クライアントタスク	
<u> 基本</u> ▲ 設定 サマリー	<b>ソフトウェアインストール設定 ESETライセンス ◎ CSETライセンスを選択&gt; インストールするパッケージ ◎ 回</b> 現パッケージルドマインストール <b>インストールパラメータ ◎ 必要なときに自動的に再起動</b>

4. 「+」を展開し、ご利用ライセンスを選択のうえ、[OK]ボタンをクリックします。

ライセンスを選択してください							×
م ج م ح	ステータス 🛕 🕒 🖌 🕕 😒	製品名	ライセンスタイプフラグ	未選択 マ	\$\$. \\\\	フィルタの追加	Jutyry C
	所有首名	連絡先	製品名	コニ: サブ:	ライセンスタイプ	77-	有効期間
$\bigcirc$							
ここでは、適用されたタグのリストを確 認し、すばやくフィルタリングできま す。							
	1/1						
							ок ≢ャンセル

5. 「直接パッケージ URL でインストール」を選択し、Web サーバーに配置しているクライアント用プログ ラムのパスを記載します。

※以下は例です。

クライアントタスク タスク > クライアントタスク		
基本 設定 サマリー	ソフトウェアインストール設定 ESETライセンス ③	
	<ul> <li>インストールするパッケージ ③</li> <li>リボジトリからパッケージをインストール ESET Endpoint Security; windows (WINDOWS)のパージョン7.3.2044.1、言語)ョ_JP</li> <li>         直接パッケージURLでインストール         https://192.168.10.10/ees_nt64.ms          ×         マプリケーションエンドユーザー使用許諾契約に同意します     </li> </ul>	٢

### (例)http://192.168.XXX.XXX/ees_nt64.msi http://Web サーバーの IP アドレス/インストーラーのパス



サーバー用プログラムの EFSW(管理サーバーにインストールされている EFSW を除く)をバージョンアッ プする場合は、「ESET File Security for Microsoft Windows Server」のインストーラーのパス を指定してください。

6. 「アプリケーションのエンドユーザー使用許諾契約の条項に同意し、プライバシーポリシーを確認しま す。」にチェックを入れます。

<b>クライアントタスク</b> タスク > クライアントタスク		
基本 設定 サマリー	ソフトウェアインストール設定 ESETライセンス ^②	
	インストールするパッケージ ③         リポジトリからパッケージをインストールESET Endpoint Security: windows (WINDOWS)のパージョン7.3.2044.1、言語ja_JP         ● 直接パッケージJURLでインストール         https://192.168.10.10/ees_nt64.msi         マプリケーションエンドユーザー使用許諾契約に同意します	×

7. [サマリー]の内容を確認し、[終了]ボタンをクリックします。

クライアントタスク タスク > クライアントタスク	
基本 ▲ 設定 サマリー	<ul> <li>基本</li> <li>名前</li> <li>マスパージョンアップタスク</li> <li>説明</li> <li>タグ</li> <li>タズクの範囲</li> <li>ソフトウェアインストール</li> <li>ンフトウェアインストール設定</li> <li>ESETライセンス</li> <li>インストールするパッケージ</li> </ul>
	戻る     続行     検了     名前を付けて保存(A)_     キャンセル

8. 以下の画面が表示されたら、[トリガーの作成]ボタンをクリックします。



9. [基本]を展開し、任意のトリガーの説明(例: V7.3 バージョンアップトリガー)を入力します。

新しいトリガーの追加 タスク > 新しいトリガーの追加		
<ul> <li>基本</li> <li>ターゲット</li> <li>トリガー</li> <li>詳細設定 - 調整</li> </ul>	トリガー説明 V7.3パージョンアップトリガー	×

10. [ターゲット]を展開し、「コンピューターの追加」または「グループの追加」を選択します。 ※本手順では「グループの追加」を選択します。

新しいトリガーの追加 タスク > 新しいトリガーの追加		
基本 ▲ ターゲット	コンピューターの追加 グループの追加 ターゲットの削除	
トリガー	ターゲット名 ターゲット説明 ターゲットタイプ	Ô
詳細設定 - 調整	使用できるデータがありません	

11. バージョンアップするクライアントが所属するグループを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

保存先の設定															×
グループ	~	A 0 V O	✓ サブグループの表示	- 	<b>V</b>	フィルタの追加	プリセ	v 1 v							
V D LOST+FOUND (	1 _	△2コンピューター名			タグ		<b>X</b> 5	20	ŧs	前回の維続	25	积日	12:1	12:1	_1 ®
○ ♥ ■ Windows コンピューター	1	•					<b>*</b>		₹	2020 8月 19 13:15:12	0	0	ES	7.1	LO
○ > ■ Mac コンピューター		8					¥		更	2020 8月 19 13:36:40	0	0	ES	7.1	LO
	9-														
<ul> <li>図 古いオペレーティンクシスラ</li> <li>図 税価のあるコンピューター</li> </ul>	10														
アクティベーションされてい	26														
□ ∨ 🖿 モバイルデバイス															
												_			
	1													⊴1	0 0 '
<	•														
<ul> <li>ターグット名</li> </ul>	L		9	ーゲット説明						ターゲットタイプ					0
LOST+FOUND			U	DST+FOUNDの静的ク	ウレープ					静的グループ					
	L														
	L														
													_		
前岸 すべて前岸	<u> </u>				_		_	_	_		_		×	÷1	201

12. [トリガー]を展開し、トリガータイプを選択します。

※本手順では「即時」を選択します。[終了」]ボタンをクリックします。

新しいトリガーの追加 タスク >・新しいトリガーの追加	
基本 ターゲット	i トリガータイプ 回時す ♥ 回時実行
1997 詳細設定 - 調整	<b>有効期限 ③</b> 2021 2月 18 17:00:24 <b>i ローカル時刻を使用</b> □
	戻る 統行 <b>終了</b> キャンセル

以上で、クライアント用プログラムのバージョンアップは完了です。

以上で、【パターン B : Web サーバーを使用してバージョンアップする場合】は完了です。 最後に<u>【STEP5】</u>で各プログラムのバージョンが完了したことを確認します。

# 11. パターン C: AD 環境で GPO を使用してバージョンアップする場合

※GPO を使用してバージョンアップを行う場合、GPO で配布を行う各インストーラーがクライアント 端末からアクセス可能なネットワークパスの共有フォルダに格納してあること、また各クライアント端末 は任意の OU に所属していることが前提です。

# a. EM エージェントとクライアント用プログラムのバージョンアップ

GPO を使用してバージョンアップを行う場合は、EM エージェントとクライアント用プログラムを同時にバージョンアップします。

### a-1. 動作要件の確認

バージョンアップの前に、EES V7.3とEEA V7.3の動作要件を確認します。

<ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルス 動作要件>

・ESET PROTECT Entry オンプレミス(旧名称: ESET Endpoint Protection Advanced)を ご利用のお客様

https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-entry-o/spec.html

・ESET PROTECT Essential オンプレミス(旧名称: ESET Endpoint Protection Standard) をご利用のお客様

https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-essential-o/spec.html

### a-2-1. バージョンアップの準備 ~GPO の作成~

クライアント用プログラムのバージョンアップを行うための GPO を作成します。

1. スタートボタンをクリックし、「Windows 管理ツール」より「グループポリシーの管理」を起動します。



 「グループポリシーの管理」が起動したら、「グループポリシーの管理」>「フォレスト」>「ドメイン」> 「任意のドメイン名」と展開して「グループポリシーオブジェクト」を右クリックし、「新規」をクリックします。

📓 グループ ポリシーの管理					_	
🔜 ファイル(F) 操作(A) 弱 <del>中</del> 🔿   🎦 🔂 🗐 🕴	表示(V) ウィンドウ(W) 🧖	ヘルプ(H)				- 8
■ グループポリシーの管理	]	eset.com( 内容 委任	の グルー	ブ ポリシー ス	ナブジェクト	
✓ i eset.com	4	名前	`	GPO の状態	WMI フィルター	更新日
🛒 Default D	Oomain Policy	🗐 Default I	Domain C	有効	なし	2021/0
> 🖬 Domain C	Controllers	📕 Default I	Domain P	有効	なし	2021/0
> 🖬 ESET		🗐 管理者権	電限付与	有効	なし	2021/0
▶ □〕グル > □● WM	新規(N)					
> 🤖 スタ > 📫 サイト 🤓 グルーブ ポリ: 🔂 グルーブ ポリ:	9 へくバックアップ(B) バックアップの管理(M) 移行テーブル エディターを開	¶<(O)	•			
	表示(V) ここから新しいウィンドウ(W	> )				
	最新の情報に更新(F)					
	ヘルプ(H)					

「新しい GPO」が表示されたら、任意の名前を設定し、[OK]ボタンをクリックします。
 ※本手順では「ESET バージョンアップ」とします。



4. 新しく作成したグループポリシーオブジェクトを右クリックし、[編集]をクリックします。



5. 「グループポリシー管理エディター」が起動したら、「コンピューターの構成」>「ポリシー」>「ソフトウェアの設定」と展開し、「ソフトウェアのインストール」を右クリックして「新規作成」>「パッケージ」をクリックします。

圓 グループ ポリシー管理エディター					—	×
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) へ						
🗢 🏟  🔚 🖬 🕼 🔺 🖡	? 🖬					
■ ESETバージョンアップ [WIN-E59160]	名前	バージ	展開状態	インストール元		
<ul> <li>✓ ● コンビューターの構成</li> <li>✓ ● ポリシー</li> <li>✓ ● ソフトウェアの設定</li> </ul>			このビューに表示するな	項目はありません。		
○ ソフトウエア 1 ノ CN > ○ Windows の設定 ※ □ 第四田=>> 1 /	新規作成(N)	>	パッケージ(P)			
>	表示(V)	>				
<ul> <li>✓ ペ ユーザーの構成</li> <li>&gt; ゴ ボリシー</li> <li>&gt; ゴ 基本設定</li> </ul>	貼り付け(P) 最新の情報に更新(F) 一覧のエクスポート(L)					
	プロパティ(R)					
	ヘルプ(H)					

6. ネットワークパスの共有フォルダに公開してある EM エージェントとクライアント用プログラムのインストー ラーを両方選択し、[開く]ボタンをクリックします。

j ik							×
$\leftarrow \rightarrow \ \cdot \ \uparrow$	> <b>ネ</b> ッ	トワーク			✓ Ö eset	D検索	P
整理 ▼ 新しいフ:	ォルダー						?
		名前	更新日時	種類	サイズ		
	*	弱 Agent_x64 弱 es_nt64	2020/11/29 9:30 2020/11/11 22:59	Windows インストー Windows インストー	64, 320 KB 194, 300 KB		
<ul> <li>ドキュメント</li> <li>ピクチャ</li> </ul>	A A						
PC							
<u></u>							
	ファイル・	名(N): ["] Agent_x64" "ees_nt64"			~ Win	dows インストーラー パッケー: 開く(O) キャンセ	ジィ〜 ル

7. 「ソフトウェアの展開」画面が表示されたら、「割り当て」にチェックを入れ、[OK]ボタンをクリックします。 ※本画面は 2 回表示されます。 2 回とも「割り当て」にチェックを入れてください。

ソフトウェアの展開	×
展開方法を選択してください:	
○ 公開(P) ● 割り当て(A) ○ 詳細設定(V)	
	0
OK キャンセル	

8. 手順6で選択したインストーラーが表示されたことを確認します。

🧾 グループ ポリシー管理エディター					_		×		
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)									
🗢 🄿 🙍 📆 🖬 🖉									
■ ESETパージョンアップ [WIN-PC7HQ 4	名前	パージ	展開状態	インストール元					
<ul> <li></li></ul>	ESET Endpoint Security	7.3 7.2	割り当て 割り当て						
<ul> <li>         ○ Windows の設定      </li> <li>         ○ 管理用テンプレート: ロー      </li> <li>         ○ 基本設定      </li> <li>         ○ ポーガーの構成     </li> </ul>									
> 🎬 ポリシー > 🞬 基本設定									

 「コンピューターの構成」>「ポリシー」>「管理用テンプレート」>「Windows コンポーネント」> 「Windows インストーラー」を展開し、画面右側の「常にシステム特権でインストールする」をダブル クリックします。



10. 「有効」にチェックを入れ、[適用]ボタンをクリックします。

🌉 常にシステム特	寺権でインストールする					—		×
👼 常にシステム	持権でインストールする			前の設定(P)	次の設定	:(N)		
<ul> <li>○ 未構成(C)</li> <li>● 有効(E)</li> <li>○ 無効(D)</li> </ul>	JXント: サポートされる.(「−Sia>y)							<b>^</b>
		windows 20						Ŷ
スノンヨノ: このポリシー設定で 両方に対して設定	を有効にするには、コンピュー こする。必要があります。	ターとユーザー	マのポリシーに につれり、一に につけずらん このポリシーに これます。このポリシーに たはコンビュー シージーの切り に してきるフログビー ドレー(感見とす このポリター) レー(感見とす このポリター) レー(感見とす このポリター) レー(感見とす このポリター) レー(のポリター) レー(のポリター)	安定を使用すると、V に インストールするとき 、 に 、 に 、 に 、 の 特種 は ユー 、 、 の 特種 は ユー 、 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に	Vindows インスト に管理者特権がす 「テーマテスクトップ」 ストールされている バルの (プログラム)、 レーター上のディレインールできます。 合、または構成しば でいない石が見ている。 適用されます。 ーターの構成[] フ: このポリシー酸洗衣が 有効にする必要が	マーラーを(アクセス)許 アクセス)許 (へての住宅加加)と に (1)の追し設定で (な更りを) (1)の (1)の (1)の (1)の (1)の (1)の (1)の (1)	使ってシステ 一 可が使用 つがうムに通う されているう 当ないティレ ない、シスト 一 ル時に よび「ユーーで うって、こ た た ない、シスト ー ル時に よび、「ユーーで うって、こ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	えさ 囲まる用エクケ ひは サ方
			[	ОК	キャンセル		適用(A	.)

11. [OK]ボタンをクリックします。

🌆 常にシステム	寺権でインストールする			_		×
📅 常にシステム	特権でインストールする		前の設定(P)	次の設定(N)		
○ 未構成(C) ● 有効(E) ○ 無効(D)	コメント: サポートされるバージョン:	Windows 20	000 以降			~
オブション: このポリシー設定 両方に対して設定	を有効にするには、コンピュー とする必要があります。	ターとユーザー	ヘルプ: このポリシー設定を使用すると、W にプレグラムをインストールするときに れます。 このポリシー設定を有効にすると、1 されます。通常、この特権はユーザ たはコンピューター(自動的にインス プログラム、またはコントロール/パネ できるプログラム用に予約されてい。 ザーはアクセス許可が与えられてい、 サー(厳しく利限されているコンピュ- スを必要とするプログラムをインスト このポリシー設定を無効にした場合 ム管理者から配布または提供され ユーザーの現在のアクセス許可が知 注:このポリシー設定は「コンピュ-	indows インストーラ- 管理者特権のアクセ. 管理者特権がすべての (デスクトップ上で現 いのしてログラムの約(こ者) かのしてログラムの約(こ者) する。このプロファイル設 ないため表示も変更も -ター上のディレクトリを -ターンのディンクトリス -リンできます。 または構成しなかっ ていないプログラムのイ 重用されます。 -ターの構成()フォルタ-	を使ってシスス ス計可が使用 )プログラムに が使用 )プログラムに できないディ ごを使うと、 できないディ 合む)へのブ た場合は、シー た場合は、シー た場合は、シー たり、一の たり、 にして、 に、 し、 、 し、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	テロ 適うに利ユレクウ スに ザナ
			のフォルダーでこのポリシー設定を有 OK	見効にする必要がありま キャンセル	<b>さす。</b> 適用(	A)

12.「常にシステム特権でインストールする」の状態が、「有効」になっていることを確認します。

🧾 グループ ポリシー管理エディター			-		×
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)					
🗢 🔿 🙍 💼 🔒 📓 🖬 🛛 🍸					
■ ESETパージョンアップ [WIN-E5916078DK4.EXAMPLE.COM] へ 、 ● コンピューターの模成	📔 Windows インストーラー	_			
	常にシステム特権でインストールする		設定	状	態
<ul> <li>&gt; □ ソフトウェアの設定</li> <li>&gt; □ Windows の設定</li> <li>○ ● 毎 毎 毎 まってしょう リーカル コンピューターかに取る</li> </ul>	<u>ポリシー設定</u> の編集	^	ビソースがシステム特権でインストールされているときユーザーが参照でき ビメディアソースがシステム特権を使ってインストールされているときユーザ シュニュレザキアスシュールまたでいるおりについた。 メディアメースがシステム特権を使ってインストールされているときユーザ	未構	豊成 茜成 生亡
♥ ■ 智速用 リフリレート 目 カルコフビュ フ かられて ♥ ■ Windows コンポーネント	必要樂1+: Windows 2000 以降		※ 常にシステム特権でインストールする	有	劾
<ul> <li>ActiveX Installer Service</li> <li>&gt; I BitLocker ドライブ暗号化</li> <li>&gt; Internet Explorer</li> </ul>	説明: このポリシー設定を使用すると、 Windows インストーラーを使ってシステ		<ul> <li> <b>再起動</b>マキージャーの使用を禁止する          Ei 新しいソースの参照ダイアログボックスを削除する         Ei Flyweight Patching を禁止する      </li> </ul>	<del>未</del> 未根 未核	<del>島成</del> 豊成 豊成
I MDM > I Microsoft User Experience Virtualizat Microsoft アカウント	ムにプログラムをインストールするときに管理者特権のアクセス許可が使用されます。		EE パッケージ設定を使用したログのオフを無効にする EE Windows インストーラーをオフにする ED コーザーゲ Windows インストーラーを使用して更新プログラムおとびア	未根 未根 +1	豊成 茜成 毎成
<ul> <li>Microsoft セカンダリ認証要素</li> <li>NetMeeting</li> <li>OneDrive</li> </ul>	このポリシー設定を有効にすると、管理 者特権がすべてのプログラムに適用され ます。通常、この特権はユーザー(デスク		E ユ ダ が Windows サンド・ゲ を使用してたがっし クスム あいり … E ロールバックを禁止する E 共有コンポーネントを無効にする		載成 豊成
<ul> <li>OOBE</li> <li>PC 設定の同期</li> <li>RSS 74-ド</li> </ul>	トップ上で提供されている) またはコン ピューター (自動的にインストールされてい る) に割り当てられているプログラム、また		<ul> <li>E ユーリーによるイブストール制御を有効にする</li> <li>E Windows インストーラーがトランザクション ログに記録するイベントの</li> <li>E アブリケーションの製造元によって署名された更新プログラムの、非管</li> </ul>	木板 未根 未材	章成 曹成 蕃成
<ul> <li>□ Windows 10 への機能の追加</li> <li>&gt; □ Windows Defender Exploit Guard</li> </ul>	はコントロール バネルの [プロクラムの追加と削除] で利用できるプログラム用に 予約されています。このプロファイル設定		E 更新プログラムの削除を禁止する     E システムの復元のチェックポイントの作成をオフにする     コーザー単位のインストールを禁止する     コーザー単位のインストールを禁止する     コーザー単位のインストールを禁止する     コーザー単位のインストールを禁止する     コーガー単位のインストールを禁止する     コーガー単位のインストールを禁止する     コーガー単位のインストールを禁止する     コーガー単位のインストールを禁止する     コーガー単位のインストールを禁止する     コーガー単位のインストールを禁止する     コーガー単位のインストールを禁止する     コーガー単位のインストールを     コーガー単位のインストールを     コーガー単位のインストールを     コーガー単位のインストールを     コーガー単位のインストールを     コーガー単位のインストールを     コーガー単位のインストールを     コーガー単位のインストールを     コーガー	未相未相	豊成 菌成 蕃成
<ul> <li>Windows Defender Smartscreen</li> <li>Windows Defender ウイルス対策</li> <li>Windows Hello for Business</li> </ul>	をにりと、ユーリーはアワビスキーのか与れ られていないため表示も変更もできない ディレクトリ (厳しく制限されているコン ビューター トのディレクトリを会だ) へのア		EE コンポーネントのアップグレードの規則を強制する EE ベースライン ファイル キャッシュの最大サイズを制御する	未相	貴成 婁成
○ Windows Ink ワークスペース ○ Windows Media Player ○ Windows Media デジクル等作接筆理	クセスを必要とするプログラムをインストー ルできます。		目 埋め込み UIを禁止する II Windows インストーラー スクリプト用の Internet Explorer セキュリテ II 変換ファイルのコピーをワークステーション トの安全な場所に保存する	未相 未相 + #	貴成 義成 義成
Windows Metal 5757/P41F作電理     Windows Messenger     Windows PowerShell     Windows Update     Windows インストーラー     Windows インストーラー     Windows インストーラー	このポリシー設定を無効にした場合、ま たは構成しなかった場合は、システム管 理者から配布または提供されていない プログラムのインストール時にはユーザーの 現在のアクセス許可が適用されます。		■ え深ノア1/W03ビーモノーンスノーンゴノエリ交王な場所に保持する	<b>.</b>	<b>\$</b> 195
<ul> <li>Windows カスタマーエクスペリエンス向上</li> <li>Windows カラー システム</li> <li>Windows カレンダー</li> </ul>	注: このポリシー設定は [コンピューターの 構成] フォルダーおよび [ユーザーの構成] フォルダーにあります。このポリシー設 定を有効にするには、両方のフォルダー	~	<		)

以上で、クライアント用プログラムと EM エージェントのバージョンアップ用の GPO の作成は終了です。

### a-2-2. バージョンアップの準備 ~GPO の配布~

作成した GPO を、クライアント端末が所属している OU に割り当てます。

1. スタートボタンをクリックし、「Windows 管理ツール」より「グループポリシーの管理」を起動します。



2. 「グループポリシーの管理」が起動したら、クライアント端末が所属している OU を右クリックし、「既存 の GPO のリンク」をクリックします。



3. 「GPO を指定するドメイン」が正しく設定されていることを確認し <a-2-1> で作成した GPO を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

GPO の選択	×
GPO を指定するドメイン(L):	
example.com	~
グループ ポリシー オブジェクト(G):	
名前 ^	
Default Domain Controllers Policy	
ESETパージョンアップ	
官理者權限何与	
	OK キャンセル

4. 「リンクされたグループポリシーオブジェクト」の一覧に、手順 3 で選択した GPO が追加されていること を確認します。

<ul> <li>▲ ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ウインドウ(W) ヘルブ(H)</li> <li>■ ● ② (II) ④ (II) ● つ ● □</li> <li>■ クルーブ ポリシーの管理</li> <li>▲ フォレスト: example.com</li> <li>● ③ (II) ● ○ ● □</li> <li>□ Default Domain Control</li> <li>&gt; ⑤ (Du-ブ ポリシーの</li> <li>○ ○ (Du-ブ ポリシー)</li> <li>○ (Du-ブ ボリシー)</li>     &lt;</ul>	📓 グループ ポリシーの管理			_	D X
<ul> <li>              ▲ アルーブ ポリシーの管理             ▲ フォレスト: example.com             ▲ アメイン             × 論 FXイン             × 論 example.com             ▲ Default Domain             &gt; 直 Default Control             ▲ 面 for the control             ★ 面 for the control             ▲ 面 for the control             ★ 面 for the control             ▲ 面 for the control</li></ul>	🔜 ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	ウィンドウ(W) ヘルプ(H)			_ 8 ×
▲ グルーブ ポリシーの管理     ▼     To kyo       ▼ 通 Pofault Domain     □ Default Domain       ● Domain Control     ● Domain Control       ● 面 Tokyo     □ Default Domain       ● 面 Tokyo     □ Tokyo       ● 面 Tokyo     □ Default Domain       ● 面 Tokyo     □ Tokyo       ● 面 Tokyo     □ Default Domain       ● 面 Tokyo     □ Tokyo       ● Tokyo     □ Tokyo       ● 面 Tokyo     □ Tokyo       ● □ Tokyo     □ Tokyo       ● □ Tokyo     □ Tokyo       ● □ Tokyo     □ Tokyo       □	🗢 🄿  🛅 🖬 🖬				
	<ul> <li>■ グルーブ ポリシーの管理</li> <li>▲ フォレスト: example.com</li> <li>■ K×イン</li> <li>■ Default Domain</li> <li>&gt; ■ Domain Control</li> <li>&gt; ■ Tokyo</li> <li>&gt; ■ Tokyo</li> <li>&gt; ■ Tokyo</li> <li>&gt; ■ Q. Default Domain Control</li> <li>&gt; ■ Tokyo</li> <li>&gt; ■</li></ul>	Tokyo       リンクされたヴルーブ ポリシー オブ:       リンクô順序       ▲       2       マ       マ       マ	⁷ Iウト グルーフ ポリシーの紙 GPO	世承 奏任 強制 リンクの有効化 いいえ はい いいえ はい	GPO の状態 客効 有効
	< >	<			>

以上で、EM エージェントとクライアント用プログラムのバージョンアップ用の GPO の配布は終了です。

### a-3. EM エージェントとクライアント用プログラムのバージョンアップ

GPO の配布が完了すると、クライアント端末の次回起動時にバージョンアップが実行されます。

バージョンアップ後は以下の画像のようにクライアント端末の再起動が必要になりますので、必ず再起動を 行ってください。

※クライアント端末での GPO 適用には時間がかかる場合があります。

※「リアルタイムファイルシステム保護は機能していません」というアラートが表示される場合は、再起動に より解消されます。

ENDPOINT SECUR	лтү - — ×
▲ 現在の状況 🔕 Q、コンビューターの検索	▲ セキュリティアラート
<ul> <li>⑦ アップテート</li> <li>② お定 ●</li> <li>〇 シール</li> </ul>	▲ コンピューターを再起動する必要があります ESET Endpoint Securityは新しいパージョンにアップデートされました。コンピュータの再起動が必要です。最大限の保護を保証するには、すべての変更を有効にするために、コンピューターの再起動が必要です。 コンピューターの再起動
⑦ ^# <i>Iz</i> ₩-+	▲ リアルタイムファイルシステム保護は機能していません この機能を開始できませんでした。コンビューターは一部のタイプの脅威から保護されません。
ENJOY SAFER TECHNOLOGY ^M	

再起動が終了したら、クライアント端末のバージョンアップは完了です。 【STEP5】で各プログラムのバージョンが完了したことを確認します。

### ※次回起動時以降にバージョンアップが行われない場合は、クライアント端末で以下の操作を行って ください。

1. クライアント端末でスタートボタンをクリックし、「Windows システムツール」より、「コマンドプロンプト」 を起動します。



2. 「コマンドプロンプト」が起動したら、以下のコマンドを実行します。

コマンド : gpupdate /force



3. 「再起動しますか(Y/N)?」が表示されたら、「Y」を入力し再起動します。



4. 再起動後、バージョンアップが行われたことを確認します。



※「グループポリシー管理エディター」で「コンピューターの構成」>「ポリシー」>「管理用テンプレート」> 「Windows コンポーネント」>「Windows Defender SmartScreen」>「Microsoft Edge」を展 開し、「Windows Defender SmartScreen を構成します」をダブルクリックして設定を行います。



#### ※以下の <a-4>は、【STEP5】でバージョンアップ完了が確認できた後に実施してください。

#### a-4.配布した GPO の割り当て解除

1. スタートボタンをクリックし、「Windows 管理ツール」より「グループポリシーの管理」を起動します。



2. 「グループポリシーの管理」が起動したら、クライアント端末が所属している OU を選択し、クライアント 用プログラムのバージョンアップ用に割り当てた GPO を右クリックして「削除」をクリックします。



3. 以下のポップアップが表示されたら、「OK」をクリックします。



4. クライアント端末のバージョンアップ用に割り当てた GPO が削除されていることを確認します。



以上で、GPO の割り当て解除は完了です。

以上で、【パターンC:AD環境でGPOを使用してバージョンアップする場合】は完了です。

# 12. 【STEP5】バージョンアップ完了の確認

- Web コンソール を起動して、ESET Security Management Center に接続します。 ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。
  - ※ ESMC Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。https:// <管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス> /era

es	SECURITY MANAGEMENT CENTER	۲
	ログイン	
17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-1	Administrator	
	A パスワード	P
-	<ul> <li>● 日本語</li> <li>マ</li> </ul>	
	メインユーザーとしてログイン	
	<ul> <li>プレチタブでのセッションを有効化</li> <li>ログイン</li> <li>パスワード変更</li> </ul>	

「コンピューター」より、【STEP3-1】で作成した動的グループにバージョンアップしたクライアントが所属し、セキュリティ製品バージョンがクライアント用プログラムとサーバー用プログラムのそれぞれが「7.3」以上であることが確認できれば、バージョンアップ完了です。

また、モジュールが「更新」になっていることもご確認ください。

※バージョンアップ後は再起動が必要なため、最初は黄色のアラートで表示されます。 その場合は、クライアントの再起動を行ってください。

(05	SECURITY M	ANAGEMENT CENTER					Sam ao B	a-7-6	0K90950	- 0	シー・レント	A. ADMINISTRA	TOR 🖂	50795 -90
		コンピューター		▲ ● ✔ ○ サブグループの表示	🗹 🗈 クライアント用ブ	(1)		フィルタの激加					プリセット	- O
G		グループ	۵ ا	A 3283-9-8	97 ステータス	1-25	モジュール	ROHR	アラート	encts	セキュリティ	セキュリティ	リループモ	ж) ф
A		A (1) #AC (2)		🖵 🖗 desktop funducenample.c.,	~		更新	2021 2/8 10 12:01:32	0	0	ESET Endpois	7.3.2028.1	.OST+FOUL	0
5			0											
00		● バージョンアップ用アグループ × ● Workers コンピューター	60											
-		✓ C Linuxコンピューター												
0		✓ ■ Max コンピューター												
0		11 古いモジュールのコンピューター												
8-		自いオペレーティングシステムのコン	e.,											
		11 時間のあるコンピューター												
		■ POPPA = SEVERCORDER	dire.											
			÷.											
		90	9											
		CCTUL BREATESHOODAN-BER BL. FER-C20.000/201882 T.												
•	がりたたみ			新規造法 * アウション * :	23-1- V								0 10	1 🗇 🔍
													_	
						_								
			1	トでバーミ	ッコンア	ッフ	ľ 4∕E ≧	差は糸	<u>&amp; 7'</u>	<b>~</b> ``	<u>d</u>			